

事 務 連 絡
令和8年4月16日

各都道府県・指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校主管課 御中
各国立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局
高等学校振興課
産業教育振興室

港湾運送業若年者理解・入職促進事業の周知について（依頼）

平素より産業教育の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

この度、厚生労働省職業安定局建設・港湾対策室より、別添のとおり、若年者の港湾運送業に対する理解や入職促進を図ることを目的として「港湾運送業若年者理解・入職促進事業」を実施するため、本事業の周知依頼がありました。

つきましては、本事業について御了知いただくとともに、このことについて、適宜関係各所に対し、周知いただきますようお願いいたします。

なお、周知に際してはリーフレットも御活用いただけますと幸いです。

御不明な点などございましたら、厚生労働省職業安定局雇用開発企画課建設・港湾対策室へお問い合わせくださいますようお願いいたします。

【本件担当】

初等中等教育局高等学校振興課

産業教育振興室産業教育係 03-5253-4111（内線 2384）

職 建 発 0331 第 4 号
令 和 8 年 3 月 31 日

文部科学省初等中等教育局
参事官（高等学校担当）付産業教育振興室長 殿

厚生労働省職業安定局
雇 用 開 発 企 画 課
建 設 ・ 港 湾 対 策 室 長
（ 公 印 省 略 ）

港湾運送業若年者理解・入職促進事業に係る協力について

日頃より、港湾労働行政の推進に御協力いただき感謝申し上げます。

さて、港湾運送業界については、急速な高齢化の進展や低調な入職率等により、技能労働者の不足が顕在化しつつあり、若年労働者の確保・育成が極めて重要な課題となっております。

また、低調な入職率の背景には、就職先を決定する過程において港湾運送業界の情報が正しく伝えられていないという状況があると考えられます。

このため、別紙のとおり、若年者が港湾運送業界と接する機会を提供することで、若年者の港湾運送業への理解を深め、入職促進を図ることを目的とした「港湾運送業若年者理解・入職促進事業」を、港湾労働法に基づく指定法人である港湾労働者雇用安定センター（一般財団法人港湾労働安定協会）に対する交付金事業として令和6年度から実施しており、これまで（令和7年12月末時点）に、出前授業・職場見学会・業界セミナー等合計61回の取組を実施し、延べ1,133人に参加いただいたところです。参加者アンケートにおいては、参加者の約8割から「港湾運送業界への印象変化があった」「就職の選択肢として関心が高まった」との評価を受け、本事業の成果が着実に現れているところであり、貴省の格別の御協力で改めて感謝申し上げます。

令和8年度は、実施回数を増やし、より多くの機会を提供することとしておりますので、引き続き、当該協会が作成した周知用リーフレット（別添）により、関係都府県教育委員会並びに関係都府県担当部局及びその管下の高等学校等に対する積極的な周知をお願いするとともに、事業の実施に当たり当該協会から協力依頼があった場合には御協力をお願いいたします。

（参考）実施地域：6大港（東京、横浜、名古屋、大阪、神戸及び関門の各港）

<連絡先>

厚生労働省職業安定局 雇用開発企画課
建設・港湾対策室 港湾労働係

飯田 handa-chie.j29@mhlw.go.jp

佐藤 satou-shuuichi@mhlw.go.jp

TEL:03-5253-1111（内線5802）

みなとdeワーク事業 のご案内

国内物流・海外貿易の要! 「みなと」で働いてみませんか?

「みなとdeワーク事業」とは?

高等学校の生徒等(教師・保護者を含む)をはじめとする若者に、港湾運送業界と接する機会を提供することにより、生徒側の港湾運送業に対する理解を深め、若年者の入職を促進することを目的とした事業です。

未来を担う高校生などの若者のみなさんに、港湾運送業の仕事・職場の実態・魅力を知ってもらう機会となることを期待するものです。

「港湾運送業」とは?

「人々の暮らしに貢献」「物流を支える」やりがいのある仕事です!

我が国は、資源のほとんどを海外から輸入しています。その輸出入の99%以上を海上輸送が担っており、港湾運送業は、我が国の物流、ひいては経済活動全体の要の役割を担うものとして、海上輸送と陸上輸送(トラック、鉄道等)を円滑に結びつける、ハブの位置づけを有する事業です。

ひとことで「**港湾運送業**」といっても、事業内容や関連する職種は多岐に亘り、それぞれが高度な専門性を要するもので、主な仕事として、「**沿岸荷役作業**」、「**船内荷役作業**」などがあります。

「沿岸荷役の作業」

埠頭ターミナルなどで作業指揮監督者の指示を受けながら、貨物の運搬や搬出を行います。この作業において、ショベルローダー、リーチスタッカー、ストラドルキャリアーなどの重機や、港湾内の運搬のために大型自動車が使われます。



「船内荷役の作業」

作業指示者の合図により、本船上のクレーン、ガントリークレーン、フォークリフトなどの重機を運転操作して貨物の積み卸しを行います。



実施する取り組み



出前授業

地域の港湾運送業界の企業・団体の方が学校を訪問し、港湾運送業の仕事内容やその魅力、職場環境などを紹介します。

港湾運送業の仕事をより具体的にイメージしてもらい、その魅力を知ることができます。

職場見学会

港湾で港湾運送業が担っている仕事の現場を見学してもらい、港湾運送業で働く人たちの実際の就労環境、仕事内容や使用重機などを目で見て肌で感じることができます。



説明会（港湾運送業界セミナー）

港湾運送業の関係者が港湾運送業の仕事の魅力や職場の実態などをわかりやすく説明します。

実施に当たって

- 学校関係者等と実施内容について事前に調整いたします。
- 参加費用は、無料です。

参加対象者

- 高校生等の若年者
(教師・保護者も含む)

お問い合わせ先

一般財団法人 港湾労働安定協会 各支部

- ◆ 東京支部 (東京港湾労働者雇用安定センター) TEL 03-3769-3621
- ◆ 横浜支部 (横浜港湾労働者雇用安定センター) TEL 045-201-3311
- ◆ 名古屋支部 (名古屋港湾労働者雇用安定センター) TEL 052-652-9431
- ◆ 大阪支部 (大阪港湾労働者雇用安定センター) TEL 06-6576-1122
- ◆ 神戸支部 (神戸港湾労働者雇用安定センター) TEL 078-325-5581
- ◆ 関門支部 (関門港湾労働者雇用安定センター) TEL 093-321-6531



(一財)港湾労働安定協会
ホームページ

<https://anteikyokai.or.jp>